

2025度・芝浦工業大学と国立台北科技大学による機械工学に関する国際共同研究ワークショップin東京

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年06月23日 ～2025年06月30日	日本	国立台北科技大学	<ul style="list-style-type: none"> ・機械工学科、機械工学専攻 ・学部4年生、修士1年生、修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生6名、学生バイト2名、 教員1名 (国立台北科技大学) 学生10名、教員2名	二井 信行(機械工学課程基幹機械コース)、RAJAGOPALAN UMAMAHESWAR(先進国際課程)



図1 オリエンテーションとグループワークの開始

NTUTから10名の学生と2名の教授が参加しました。グループは6月23日午後に到着し、ウマ先生の研究室から2名のTAに紹介され、国際課の課員から最初のオリエンテーションを受けました。SITから4名の学生がGPL全体に参加しました。gPBLは23日午後に開始され、二井先生の講義を聴講する時間となりました。24日朝から、NTUTとSITの学生はArduinoプロジェクトに取り組み始めました。2日目には学生が5チームに分けられました。24日夜には歓迎パーティーを開催し、多くの参加者が集まりました。パーティーには合計25人が参加しました。学生たちはワークショップに参加し、さまざまなガジェットの作成に取り組みました。ホスト学生は金曜日に浴衣体験とキャンパスツアーという特別な経験をしました。最終日の月曜日は時間不足のため、7時からZoomで全チームのプレゼンテーションを行いました。参加学生とTA全員が早めに参加し、プログラムを成功させるために尽力しました。今後も協力を継続する予定です。すべての学生がワークショップから多くのことを学び、知識を得たことを表明しました。インバウンド活動の継続として、10月28日から11月5日までNTUTへのアウトバウンド旅行を計画している最中です。



図2 集合写真



図3 浴衣イベント



図4 コミュニケーション